

# 愛知県感染症情報

平成 11 年第 39 週（9 月第 5 週）

（コメント）

特に目立つ疾病はありませんが、突発性発疹及び流行性角結膜炎の報告数が増加しています。引き続き秋から冬にかけて流行するおそれのある A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎、感染性胃腸炎、突発性発疹等にも注意してください。

（先生方からのコメント）

- ・ 病原性大腸菌 0-167 VT1、2(-) 3 才女  
ヘルペス歯肉口内炎 11 才男  
（豊橋市 野村小児科）
- ・ SSSS（ブドウ球菌性熱傷様皮フ症候群） 2 才男  
（医療法人鈴木小児科医院）
- ・ 女 マイコプラズマ肺炎 2 例ありました。  
ビブリオ 9 才男  
水痘 9 才男ワクチン済  
（岡崎市 花田こどもクリニック）
- ・ 病原性大腸菌 0-1 VT1、2(-) 3 才男  
カンピロバクター 2 才  
（岡崎市 にいのみ小児科）
- ・ 単純ヘルペスが増えてきました。  
（西尾市 やすい小児科）
- ・ 感染性胃腸炎 2 例（サルモネラ 0-9 3 才女、病原性大腸菌 3 才女）  
水痘（帯状疱疹 3 才女）  
（知立市 近藤こどもクリニック）
- ・ 病原性大腸菌 0-6 VT1、2(-) 8 ヶ月男  
（東海市 小児科ハヤカワ医院）
- ・ 手足口病が再度やや増加傾向です。  
アデノウイルスによるとと思われる間質性肺炎 1 例あり（9 才女子、経過良好）。まだ伝染性膿痂疹が多く見られます。  
（尾張旭市 医療法人誠和会佐伯小児科医院）
- ・ マイコプラズマ肺炎 2 才女  
ムンプス（MMR 接種） 10 才男  
（瀬戸市 津田こどもクリニック）

- ・ 先週に引き続き小学生の急性化膿性扁桃炎の流行がみられます。  
(春日井市 かがわ北病院)
- ・ マイコプラズマ肺炎および流行性筋痛症らしき小流行が有るようです。  
(小牧市 志水こどもクリニック)
- ・ カンピロバクター 2才男  
(師勝町 師勝クリニック)
- ・ 一家族 2才女児、4才男児、35才母親の母子に百日咳の疑いがあります  
(女児、男児共三種混合ワクチン未接種で、母親は二種混合ワクチンのみ接種していた。)  
(春日町 丹羽医院)
- ・ パラインフルエンザ 型 2名(2ヶ月男、1才女)  
病原性大腸菌感染症 0-119 2名(6ヶ月女、4才男)  
カンピロバクター 6ヶ月女  
(尾西市 城後小児科)
- ・ 百日咳 1才  
(岩倉市 なかよしこどもクリニック)
- ・ 特に目立った感染症はありません。  
(江南市 みやぐちこどもクリニック)

(1~3類感染症の発生状況)

腸管出血性大腸菌感染症患者 2名。

- ・ 瀬戸保健所から報告の70才女。9/30発病、10/1初診、10/1診定。  
菌型は、0157 VT1(+)、VT2(+)
- ・ 足助保健所から報告の2才男。9/23発病、9/24初診、10/1診定。  
菌型は、0157 VT1(+)、VT2(+)

(全数把握の4類感染症の発生状況)

発生はありません。

第37週(9月13日~9月19日)の4類感染症の全国状況

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎、感染性胃腸炎、突発性発疹、ヘルパンギーナなどの疾患が例年の同時期に比べ定点当たり報告数がかなり多くなっている。ヘルパンギーナは秋田県で定点当たり5.43、宮崎県で3.49と報告が多くなっている。今週はインフルエンザの定点当たり報告数が例年の同時期よりやや多くなっており、宮城県からは23件の報告があった。病原体については検査が行われていない。流行性角結膜炎は群馬県で定点当たり4.00、愛媛県で3.00と報告が多くなっている。

(Infectious Diseases Weekly Reportより抜粋)

厚生省感染症研究所感染症情報センター感染症情報室提供)